

# 東京片貝会報

発行所  
東京片貝会  
東京都江東区高橋5-1-313  
電話 (3632) 0156

## 新年は片貝会とともに ——ご案内——

みんなで楽しく語りあいましょ

期日 平成6年1月30日(日)午後1時  
会場 東京新潟県人会館

昨年は、いろいろの出来ごとがございました。めでたいことや、不作に心を痛めたことや……でも、ぶじに新年を迎えることができたことを噛みしめたいと思います。どうぞ、ご来会をお待ちいたします。いつもの福引は、今回はすべて会で用意致します。

記

一、日時 平成6年1月30日(日)午後一時(正午より受付)  
一、会場 東京新潟県人会館(台東区上野1丁目13-6)

営団地下鉄「湯島」二分(千代田線)、「上野広小路」六分(銀座線)、JR「御徒町」七分

一、会費 五〇〇〇円(料理・飲み物・果物・福引など)  
お願い 返信は1月20日までに届くようお願い申し上げます。

### 同級会だより

昭六会(昭6) 11月45日  
湯沢温泉へ20名が集まり、和気あいあいの旅だった。  
生十四会(昭14) 6月267日

### 合同総会

ゆくて会(昭18) 6月267日  
蓬平温泉に一泊。片貝会とはいつもかちあって困る。  
緑友会(昭22) 6月1920日  
水上温泉へ36名が集って懇

### 親した。東京から11名参加。

講春会(昭24) 6月1213日  
奥日光へ十数名が出かけた新緑が美しかった。  
同心会(昭26) 5月2930日  
水上温泉の奥「龍洞」にて

## 会の動き

本田善治氏葬儀 5月22日  
浄照寺で盛大に執行された  
勝又会長が代表して参列  
浄照寺住職の米寿 5月23日  
本堂で市長、星野代議士ほか多数出席して賑やかに催さ

れた。勝又会長、佐藤前会長、安達宗吾さんが招待された。  
第34回総会 6月27日  
二面参照、県人会館にて  
船遊びを楽しむ 7月17日  
隅田川に船を浮かべて、親

## 歴史輝いて

母校の源をたどると、朝陽館の開設は天明年間で、百九十余年前である。  
その後耕読堂となり、明治を迎えたが、明治二年二月に片貝校と名称を改めて仮に開校した。当時私立校であったが、公立校になったのが明治七年十月十三日である。それより百二十周年を迎えたわけである。

式は南運動場で十時に開始された。記念事業会長の新野桂一郎氏が式辞を述べ、事業報告があつて、今回の記念事業に功績のあつた吉井孝、本田正史、黒崎敬五郎各氏に感謝状が贈られた。

黒崎氏は「創造主」と書いた額を寄贈して、母校の後輩に奮起を促した。これを手拭に染め、記念品として、一同

## 片貝小学校 百二十周年 式典 11月2日

に配られた。  
児童達全員が、胸いっぱい唱える、お祝いの呼びかけはすばらしいでございました。  
校長先生の謝辞があり万才三唱して終了した。  
午後からは北運動場で、盛大な祝賀会が行われた。



## 横断幕を寄贈

堺市で開催されたバスケットの全国大会に出場した中学チームを、激励するため、片貝会は横断幕を贈った。  
紺仁に註文、十万円以上かかったのを、十万円に勉強してもらった。  
これからの競技大会にも、利用される。生地といい、色といい立派なもの。左上写真



睦会を。会長ほか有志25名が参加した。二面下段の写真  
小学校百二十周年式典  
一面参照 11月2日  
勝又会長、佐藤前会長が出席。会から、記念事業の一部として十万円贈る。  
新年会予告 6年1月30日

第34回総会

楽しく語りあって

平成5年6月27日  
東京新潟県人会館にて

初夏の明るい日射しが心地よい。

開会

総会は定刻より十分遅れで阿部周次さんの司会で開会された。

まず佐藤彦一さん(副)のあいさつ。会も三十余年を経過して、団結は益々強固となった。感謝しています。会長が物故会員を知らせ、同時に最近急逝された本田善治さんを悼んで一同黙禱した。

会報発行と母校を励ます会の活動により、会員と郷里との結びつきが、一層濃くなっ



てきたように思う。が、若い人達の出席が切に望まれる。たくさんの来賓が郷里から出席いただきありがとうございます。故郷のニュースをお聞かせ下さい、と歓迎の辞。続いて黒崎孝造さんより年間の会計を報告、小川茂雄さんが監査結果を述べて承認された。

佐藤祐一さんが励ます会を代表してあいさつ。励ましていく私達が、却って励まされているように思っている。講師の世話と同窓会にお願いできれば、と希望しています。黒崎正さん(副)がご出席の来賓を紹介、別掲のような祝辞をいただいた。励ます会からは、小中学校へ図書代金として、十万円ずつ贈呈。浄照寺様からの祝電が披露されて、ぶじに総会は終了した。

片貝の人口は四千五百人で六十五才以上は一八・九%です。全国の一・二・九%と比較すると、老人率が高いことになる。七十才以上は七四三名おり、敬老会に招待したら五百人が出席しました。中学校は秋には新校舎に移る。バイクの予算もついた。又、リサイクル片貝では、町をきれいにしようとする活動をしています。

関 広一市議員  
中学校の体育館は来年できます。お盆の同窓会は、ここで球技大会ができる。下水工事も始められた。私達市議は一丸となって、町の発展に努力しています。

小林 弘中学校長先生  
現在生徒数は二百二名、職員一六名です。新校舎は町を一望できる位置で、すばらしい眺めです。どうぞぜひお出で下さい。今年は野球とバレーで優勝、バスケットは準優勝しました。

来賓のことは(要旨)  
山口益弘協議会長  
秋に小学校で、創立百二十周年式典が行われます。

相親会にぎやかに  
相崎勇次さん(副)の乾杯で開会となる。進行は黒崎勝さんが元氣一杯つとめる。席は右に左に入りまじり、久々に会った郷里の人達との語りや、友達と親しみ合う話は尽きることがなかった。

楽しい歌が出、しやぎりの演奏がえんえんと続く。最後に木遣り唄を合唱、昂奮の渦の中で、四時二十分閉会となった。

花いっぱい運動  
稲場の町会の若手グループが中心になって、学校前の通学路に色とりどりの花を植えた。ベコニア、サルビア、マリーゴールドなど

登校する児童の顔も、一段と晴れやかさを増してきた。バスケット優勝 6月20日長岡の日越小で中越地区大会が開催された。

小学校近況

東京の山の手線と京浜東北線の電車で、小学生と四尺玉のポスターが掲示された。県の観光キャンペーンの一貫として。皆さんのうち、ご覧になった方もあったでしょう。体力づくり発表会 10月6日母校は平成三年から文部省の研究指定校になっていたがその成果を発表した。県下から二百三十名の先生が参加して、三か年の結果を披露した。いきいきと学習する児童達に参観の先生に感銘を与えた。

- 出席者(57内来賓10) 大正 佐藤量八 安達宗吾 (昭和2、10)
- 丸山広弥 山口ヨシ 早川松太郎
- 相崎勇次 小川茂雄 友田勇四郎
- 酒井ミヨ 芝 五郎 日下部政子
- 石上健次 佐藤フミ 芋川とし
- 杉本 静 山口三郎 相崎善次郎
- 藤田睦子 丸山 春 田口タズ
- 松井エツ 黒崎孝造 佐藤彦一
- 勝又 功 小宮良夫 (昭和11、20)
- 山田チエ 青木富雄 五十嵐貞雄
- 小宮八重 三重堀 清 (昭和21、30)
- 安達和三 新野次朗 山岸慶昭
- 阿部周次 神村勝夫 相崎達一

- 黒崎 正 小野塚茂 佐藤祐一
- 黒崎 勝 小泉春江 本田絃一郎
- 本田弘子 吉田正子
- 小野塚美知子 山崎英輔 (昭和31、32) 諸我時夫



左の写真は舟旅一面参照

浅田雄司氏(昭28卒) 科学技术庁金属研究所・理学博士  
低温の世界、その不思議

志を持って、将来へ

第12回母校を励ます会講演会  
平成5年11月5日、片貝中にて

新校舎の体育館には、中学生全員と小学生高学年が参加町の人も多数出席して、盛会であった。

名塚同窓会長の挨拶の後、東京からは諸我時夫さんが代表して、講師の紹介と、会の趣旨を説明し、今後とも長くご支援をお願いして、講演に入る。

私は長岡高校で、小林校長先生と同級で、机を並べて勉強しました。縁とは、不思議なものと思います。皆さんも中学三年生位になると、将来の進路を考える時期がきます。私達の頃は百四十人位いて、その内三十人が高校へ進みました。早く父に別れた私は、



恐る恐る兄に相談して、承諾してもらった。

科学者を志す

当時ソ連が盛んに核実験をしていて、放射能の雨を降らしていた。私の正義感が、よしこれを研究して、世に役立つよう決心しました。ところが、結果としては金属を研究することになってしまった。それは試験に合格し、低温物理学を勉強することになったからです。

研究者になる資格は何か。いろいろの自然現象にかくれている問題を発見し、それを解こうとする好奇心があるかどうかです。

大学の先生が、鏡を見て、不思議に思わない人は、資格はないと言われた。写っている自分の顔は、果たして自分かどうか。自分の顔を見た人は誰もいない。右と左が反対に写るのに、頭と足はどうして反対に写らないのか、先生は三日三晩考えたそうです。皆さんも考えてみて下さい。

低温の世界について

本題の金属の話ですが、絶

筑波の金属研究所では、毎春公開の科学技術週間がある案内しますから、関心のある方は来て下さい。

励ます私達が、励まされています

平成五年までの実績を大切に

表題は励ます会の代表、佐藤祐一さんの言葉です。噛みしめて味わうべき内容だと思います。皆さんの心温まる声援が、今日まで続いて、この実績となりました。

私達の背後には、郷土に学ぶたくさんの児童、生徒がいます。その父母もおります。どうか、誇りを持って、この運動を続けてゆきたいと思えます。会員の皆さんに、心からお礼を申しあげます。

中学校へ寄贈した図書

○世界美術大全集 小学館 四回く八回配本 五冊(各二万円)

○液体ヘリウムの温度を更に下げると、ヘリウム2という新しい液体になる。これは忍者のようなもので、どんな小さな穴でも通る。入れた容器から逃げ出してしまふ。これからこの分野は、更に研究が進んでゆくでしょう。

○物語、マンガシリーズ「蒼い記憶」他五冊  
○歴史、五冊。社会、五冊

ご支援をいただいた方(69名)  
大正  
婦山すま 安達清次 錦織ツタ(2)

どうか皆さんも大きな夢を抱いて、勉強に励んで下さい。きつと新しい道が開けてくることでしょう。(拍手)

昭和2く10  
小川茂雄 菅野リヤ 浅田シズイ  
丸山広弥 野上フミ 松井エタ  
勝又 功 田口タズ 高橋忠夫  
内野アツ 長野チイ 山口武一郎  
大塚文雄  
昭和11く20  
小宮繁雄 川村朝子 広川久美子  
内山キミ 横田トシ 太刀川三郎  
谷口イク 関 牙子 安達敬一  
内海光子 青木富代 中野みちよ  
近藤ヤウ 小宮八重 木村百合子  
松下利夫 城所テル 山口光雄  
庄司とう 三重堀 清 小宮二郎  
昭和21く30  
安達弘男 新野次朗 吉原新作  
黒崎正 佐藤孝二 五十嵐登美子  
吉原栄一 佐藤 弘 渡辺チエ子  
本田幸男 新沢須美 横尾ミチエ  
友田勝良 高橋一郎 黒崎真知子  
藤塚文頭 関 文子 本田十三雄  
嶋川久江 黒崎 勝 久賀友作  
昭和31く35  
小宮善興 吉田弘子 大矢佐知子  
田口 操 軍司雅子 黒崎玲子  
諸我時夫 浅田達夫 渡辺信夫  
大阪 大矢三郎

会員近況 敬称略

黒崎敬五郎 16回目の書道展を横浜で、五月。全国展にも発表された。益々元気で活躍中  
佐藤孝二 七月末郵政省を退職、浦安で再出発。図書を母校へ。  
渡辺幸子 今年55才、鳳友会としてお祭りに参加しました。  
大矢佐知子 50才になり、片貝祭りに行ってきました。  
安達敬一 引退したら片貝会へ体調悪く欠席するとお知らせが高橋清雄、高桑喜枝、西山キミエ、長野チイ、石黒佐忠太、浅田シズイ各氏から。  
会報を楽しみにしているとの礼状も沢山いただいた。

母校を励ます会・会計報告

会報47号以後の収支(平成5・6・1~5・12・31)			
収 入	¥163,850	支 出	¥212,116
基金(69名)	160,000	寄贈図書	200,000
利息	3,850	講演会	10,000
		はがき	2,116
通算会計(昭和58・5・1~平成5・12・31)			
収 入	¥3,398,483	支 出	¥2,593,944
基金(延981名)	3,156,200	寄贈図書(11回)	2,400,000
利息	242,283	講演会(12回)	120,000
現在高	¥804,539	印刷・郵券	73,944

ふるさと・は・今

降雪量は七年連続少雪

昭和六十年から減り始めた降雪は、昨年冬からの雪も少雪だった。

さて今年はどうか。

本田善治さん逝く 5月20日

片貝の花火を全国的に有名にしてくれた本田さんも、病氣には勝てず逝去された。72才。浄照寺で盛大に葬儀が行われた。

山野草展

5月23日

ふるさと会館のロビーに、百五十鉢が陳列された。今回で二回目。珍しい野草が可憐な花を咲かせていた。

生活学校の指定をうける

リサイクル片貝は資源の再利用を目的とした団体で、会員が三十五名。空き缶、ポロ布、電池などを回収して、成果を挙げている。

この度県の指定をうけて、一層張りきって活動中である。

芸能まつり10周年 6月27日

小学校の体育館を会場として開催された。

中学校の吹奏楽団を始め、琴の演奏、民謡踊りなど十一の団体が出演した。趣向をこらした照明が、舞台を照らし

町のできごと

5年5月から11月まで

出して効果を際立たせた。五百名余名の満員となった。

高齢者のダンスクラブ

ヤヨイ大学の受講が契機となって発足した。会員は九十名近いが、女性が七割を占めている。毎月二回、町裏クラブを会場に、和気あいあいの展開となった。

煙火協会長さま 7月15日

本田さんが長い間就任していたが、同氏の逝去で、藤塚組の社長藤塚昇司氏が就任した。秋祭りもこれで軌道に。秋祭り、今年も盛大に

9月9・10日

九・十の両日も雨に悩まされたが、花火打揚げ時刻になると、ビタリと止んで、支障なく打揚げられた。

十時に揚がる四尺玉は、九日は雲と煙りに遮断されてほとんど見えなかった。十日も少々煙りに邪魔された。それでも大きな拍手と歓声が起こった。三尺玉はすべて成功、二日間の出は十五万人と、例年に変わらぬ賑やかさだった。

小千谷駅が縮小された

平成三年の乗客者は、年間六十五万人あったが、四年度

は六十一万となり、四万人近く減少した。

昭和四十年代には、駅員も四十五名いたのに、昨年から駅長以下五名となっている

45回町民運動会 10月10日

小学校のグラウンドに町民千五百名が集って開催された。町民の三分の一にあたる。八町内に別れて熱戦が展開されたが順位は、一位町裏、二位五之町・八島、三位二之町

7回市民綱引大会 10月17日

市の体育館に32チームが参加して戦った。小学校の部では男子、女子共に優勝した。

一般の男子も二位の好成績であった。なお7月22日には、

第8回農協主催の町内大会が

中学の体育館でも行われた。

郵便局の移転について

現在一之町にある郵便局は

昭和37年に建てられたもので

老朽化してきた。駐車場もなく、この際移転、改築が話題

になっている。

候補地は片貝駅跡で、目下

協議会が中心になって陳情中

ほのぼの祭、盛況 11月3日

十周年を記念して実施され

た。当日きのこ汁、ポップ

コーン、手焼きせんべいを無

料でサービスした。町の活性化と融和を目的に、ユニーク

な企画で、親しまれてきた

が、十年を節目に、一応幕を

閉じることになった。今後は

新たに違う企画を考えている

由

抜きつ抜かれつ駅伝大会

11月14日

雨天の中を44チームが参加

して、小学校グラウンド発着で

催された。親子チームあり、

同級生、壮年、国際チームなど、多彩の組み合わせで走った。成績は例年のように、若い中学生チームが上位を占めて終了した。

中学校近況

バレエで優勝、女子5月26日

長岡地区は26チームが参加

して試合をした。決勝戦で南

浦の栄中を二対〇で下し優勝

した。

中越大会の前哨戦である。

少年野球で優勝 6月29・30日

ベースボールマガジン社旗

争奪の少年野球大会が、小出

町で開催された。

19チームが参加、片貝中は

四回戦って、塩沢中を8対4

で破り優勝した。

球技大会で大活躍

7月13・14日

市内の大会が、各会場で行

われた。結果は左の通り

野球、優勝(男子)

バスケット 二位(男子)

バレエ 優勝(女子)

テニス 二位(女子)

中越地区球技大会

7月13・14日

片貝中はバスケット(男

子)、バレエ(女子)の二種

目で優勝した。身長は他の

チームに比して低い方だが、

それを技術と気迫でカバーし

ての奮戦だった。

バスケット全国大会に初出場

8月3・5日

北信越大会が石川県で開催

された。勝ち進んだ片貝中は

福井の小浜二中を準決勝で破

り、決勝戦では新潟の安田中

を55対52で下して、見事優勝

を果した。

8月20日から大阪堺市で開

催される全国大会に出場する

ことになった。町ではたいへ

んな盛り上がりとなった。

新校舎完成 8月14日

片貝中は市内五つの中学の

うち唯一の木造校舎で、老朽

化していた。今度従来の位置

から二十数メートルの高台に

移築された。三階建て。

コンピ्यूタ教室が初めて

備えられ、眺望のよいすばら

しい校舎となった。

この日一般町民に公開され

て、喜びを共にした。

バスケット全国大会

8月19・22日

各地区で勝ち進んだチーム

16が対戦した。

予選は三チームの総当りで

北海道と京都を破って、決勝

トーナメントに出場。一回戦

は香川県の大田中と59対49の

接戦で惜敗した。

この成果は、地元近隣の中

学にも大きな刺激を与えた。

バレエ代表、吉原智美さん

十二月大阪で開催されるバ

レーボール大会に出場する県

代表に選ばれた。片貝中の

キャプテンをつとめている。

女子バレエ二冠 11月21・23日

新潟で行われた中・下越地

区の阿賀カップ大会で優勝、

又長岡での中越地区大会でも

優勝し、県大会へ出場する。

あとがき

母校は小・中校共にめざましい活躍をした年であった。ほんとに嬉しい限りです。会も来年は三十五周年を迎えることとなります。みんなで気持ち新たに、会の発展に努めたいと思います。その意味からも、新年会にはぜひご出席、お待ち申しあげています。児童、生徒の声を、特集してお送りしました。